

経済指標ウォッチャー

貿易収支は改善ながら、経常収支は5カ月連続の減少

新型コロナウイルスの影響を受けて、旅行収支等が悪化

国際収支統計とは？

一定の期間における居住者と非居住者の間で行われたあらゆる対外経済取引（財とサービスおよび所得の取引・対外資産・負債の増減に関する取引・移転取引等）を体系的に記録した統計。経常収支と資本収支に大別される。同統計は、世界のほとんどの国や地域において、IMF（国際通貨基金）が策定した国際収支マニュアルに則って作成されており、各国の状況を比較可能。

経常収支の黒字額は前年同月比で27.4%減少

9月8日に財務省が発表した2020年7月の国際収支統計（速報値）によると、海外との財（モノ）やサービスなどの取引状況を表す経常収支の黒字額は1兆4,683億円と前年同月比で27.4%減少しました（図表1）。5カ月連続の減少となります。貿易収支は黒字に転じたものの、サービス収支の構成要素の一つである旅行収支や海外との配当や利子のやり取りを示す第一次所得収支が黒字幅を縮小したため、経常収支の黒字額も減少しました。

新型コロナウイルスの経常収支への影響は大きい

経常収支の内訳を見ると、自動車や自動車部品の輸出の減少が主な要因となり、輸出は5兆2,294億円と前年同月比で19.6%減少しました。原油価格の下落を受けて原油の輸入額が大きく減少したため、輸入は5兆922億円と同22.6%減少しました。輸入額の減少が輸出額の減少を上回ったことから、貿易収支は1,373億円の黒字に転じました（図表2）。

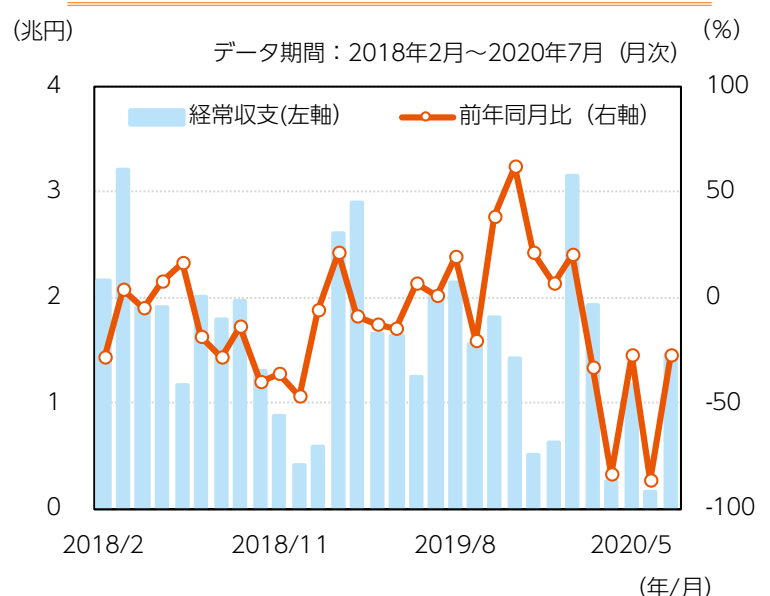
新型コロナウイルス感染拡大を背景とした訪日外国人旅行者の減少により、インバウンド消費（訪日外国人旅行者による消費支出）も減少したため、旅行収支の黒字額が前年同月の2,634億円から215億円に減少し、サービス収支の赤字幅が拡大しました（図表2）。

感染拡大を背景に海外子会社の業績が悪化し、子会社から受け取る配当金等が減少したため、第一次所得収支も前年同月比で25.1%減少しました（図表2）。

多くの国・地域で、経済活動正常化の動きが見られますが、感染再拡大により経済活動を再び制限する動きも見られます。新型コロナウイルスの影響が残る間は、経常収支（前年同月比）の減少傾向は続くものと思われま

出所 図表1、2は財務省「国際収支状況（速報）の概要」をもとにニッセイアセットマネジメントが作成

図表1：経常収支黒字額は前年同月比で減少



図表2：2019年7月、2020年7月の経常収支内訳

(単位：億円)

	2020年7月	2019年7月
貿易収支	1,373	-827
輸出	52,294	65,003
輸入	50,922	65,830
サービス収支	-3,495	-1,891
第一次所得収支	17,827	23,802
第二次所得収支	-1,021	-851
経常収支	14,683	20,233

※ 第一次所得収支：株式配当金及び債券利子等の受取・支払
 第二次所得収支：官民の無償資金協力、寄付、贈与の受払等

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>